

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
配当金受領 期末配当金：12月31日
株主確定日 中間配当金：6月30日
定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）
公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.bronco.co.jp/>
証券コード 3091

- 【ご注意】
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『復興特別所得税』に関するご案内

東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法（平成23年法律第117号）の施行に伴い、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、以下のとおり追加課税されることとなりますので、ご案内いたします。

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることとなります。

平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率は以下のとおりとなります。

	平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所 得 税	7%	15%（※）	15%
復興特別所得税	0.147%	0.315%	—
住 民 税	3%	5%（※）	5%
合 計	10.147%	20.315%	20%

（※）証券税制における軽減税率の適用終了による税率の変更です。

- 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
○本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。



株式会社 ブロンコビリー
〒465-0097
名古屋市中東区平和が丘一丁目75番地
TEL 052-775-8000（代）
FAX 052-776-4141



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



株式会社ブロンコビリー
第34期中間株主通信
（平成27年1月1日～平成27年6月30日）



証券コード：3091

ご挨拶

株主の皆様へ

株式会社ブロンコビリー
代表取締役社長
竹市克弘



株主の皆様には、平素より当社へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。ここに第34期上半期（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）の事業概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業業績の改善により設備投資の増加及び雇用環境の改善、また都心部を中心に所得環境の改善へと繋がり、景気はゆるやかに回復基調で推移しております。

外食産業におきましては、景気回復とともに価値を重視し高額でも許容する消費傾向がみられる一方、日常の食事は価格重視の傾向と二極化した状況となっており、更に中食を含めた熾烈な競争が深まっております。また円安に伴う原材料価格の高騰や景気回復に伴う人件費関連コストの上昇もあり、業界全体として厳しい状況で推移しております。

当社では、このような環境の下、お客様は今まで以上に価値を求め、外食に対する期待と店舗選別の厳しさは高まるものと判断し、基本に立ち返り価値追求を第一に考え、商品開発、販売促進、既存店活性化に取り組みしました。

その結果、当中間期の売上高は前年同期比21.8%増、中間純利益は前年同期比17.3%増で6期連続の増収増益となり、過去最高の業績を達成することができました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式分割

平成27年6月30日を基準日、同年7月1日を効力発生日として、**1株につき2株の株式分割**を実施いたしました。

これにより、投資単位あたりの金額を引き下げて流動性を高め、**より投資しやすい環境**を整えることで投資家層の拡大を図ってまいります。

株主優待

- 権利確定：6月・12月 優待発送：9月・3月
- 全店で使えるご優待券 もしくは、新潟県魚沼産コシヒカリ

株式分割により、優待制度を拡充

平成27年の株式2分割後の変更内容は以下の通りです。

平成27年株式分割前	
(新設)	—
100～499株	ご優待券 2,000円 もしくはお米 2kg
(新設)	—
500～999株	ご優待券 5,000円 もしくはお米 5kg
1,000株～	ご優待券 10,000円 もしくはお米10kg



平成27年株式分割後	
100～199株	ご優待券 1,500円
200～499株	ご優待券 3,000円 もしくはお米 2kg
500～999株	ご優待券 5,000円 もしくはお米 4kg
1,000～1,999株	ご優待券 8,000円 もしくはお米 5kg
2,000株～	ご優待券 15,000円 もしくはお米10kg

当中間期決算のポイント

既存店売上高前年同期比 +4.4%

Point.

1 商品開発

円安による原材料価格高騰が続く環境下、ステーキ原料の新規開拓、ハンバーグメニューのおいしさ向上のための継続的なレシピの見直しを行い、2月に値上げを実施いたしました。同時に「感謝還元金券プレゼントキャンペーン」を実施し、値上げ以上の還元をすることで再来店促進に取り組みました。

新商品では、米国産「プライムリブロースステーキ」、豪州産「ピュアプライムロースステーキ」を商品化し、より高品質な商品構成に取り組みました。更に全店舗に新たな調理機器を設置し、サラダバーの品質向上に取り組みました。



Point.

2 店舗改装9店舗

また、既存店舗強化のため、9店舗の改装を実施。外観変更による視認性の改善、大型モニターや肉のショーケースの設置による楽しさの演出等、新店と同様の機能を持った店舗作りを実施しました。上期に改装を集中することで、最大繁忙期である8月の売上増に取り組みました。



トピックス

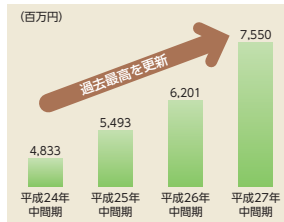
	メニュー・販促	新規出店
1月		鎌取インター店（千葉県）
2月	バレンタインクーポン メニュー改訂 感謝還元キャンペーン	
3月	春のサラダバー キッズ卒園・入学企画	津田沼店（千葉県）
4月		徳重店（愛知県）
5月	初夏のサラダバー 母の日キャンペーン	
6月	父の日キャンペーン	瀬谷店（神奈川県）

業績推移

売上高

75億50百万円

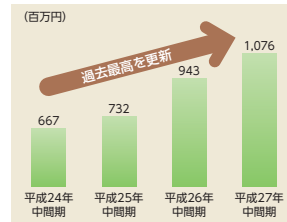
前年同期比 21.8% 増



経常利益

10億76百万円

前年同期比 14.0% 増

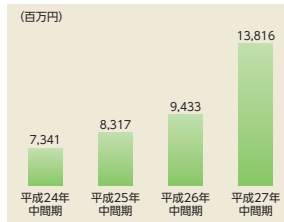


※売上高経常利益率 14.3%

総資産

138億16百万円

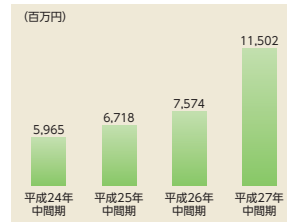
前年同期比 46.5% 増



純資産

115億02百万円

前年同期比 51.9% 増



※自己資本比率 83.3%

業績予想

業績予想の概要

(期間：平成27年1月1日～平成27年12月31日) 単位：百万円

	2014年		2015年		対 比 前年
	実績	売上比	業績予想	売上比	
売上高	13,049	100.0%	16,000	100.0%	122.6%
営業利益	2,013	15.4%	2,500	15.6%	124.2%
経常利益	2,007	15.4%	2,525	15.8%	125.8%
当期純利益	1,237	9.5%	1,590	9.9%	128.4%

※6期連続 増収増益、**売上高・各利益は過去最高**を計画

※既存店売上高前年比 **102.7%** (既存店改装 13店舗)

※設備投資額 **17億50百万円**

新規出店計画 15店舗

今期の15店舗は、東海地区4店舗、関東地区10店舗、関西地区1店舗と、関東地区の出店を中心に、関西地区へも出店してまいります。(京都府は初出店)

8店舗(8月末現在)を出店し、着実に進行中です。

出店地域		店舗数
東海	愛知県	3店舗
	静岡県	1店舗
関東	千葉県	6店舗
	埼玉県	2店舗
	神奈川県	2店舗
関西	京都府	1店舗
合計		15店舗



【徳重店(愛知県)】

今期の新たな取り組み

モバイル販促



既存のキッズクラブをモバイル化し、低コストでより多くの企画を実施していきます。

⇒将来的には会員の幅を広げ、お子様以外にも効果的な販促企画の実施に繋げてまいります。

TV会議システム



- 本部・トレーニングセンターと各店舗を繋ぎ、調理勉強会を開催します。
- 今後、パートナーへの直接指導で調理技術向上に繋がります。

デジタルサイネージ



- 新店舗と改装店舗から設置します。
- 動画を活用し、より効果的にお客様の認知度を上げます。

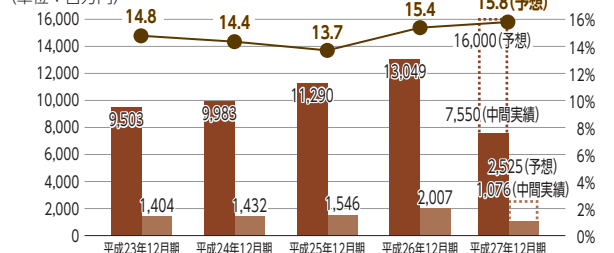
中間貸借対照表

(単位：百万円)

	第33期中間期末	第34期中間期末	第33期末
	平成26年6月30日現在	平成27年6月30日現在	平成26年12月31日現在
(資産の部)			
流動資産	4,206	7,179	7,296
固定資産	5,226	6,637	5,949
有形固定資産	4,087	5,366	4,706
無形固定資産	103	120	112
投資その他の資産	1,035	1,149	1,130
資産合計	9,433	13,816	13,246
(負債の部)			
流動負債	1,541	1,880	1,866
固定負債	317	433	429
負債合計	1,859	2,313	2,295
(純資産の部)			
株主資本	7,558	11,479	10,931
資本金	803	2,199	2,199
資本剰余金	713	2,109	2,109
利益剰余金	6,041	7,171	6,623
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	15	23	19
純資産合計	7,574	11,502	10,950
負債純資産合計	9,433	13,816	13,246

業績推移

(単位：百万円)



中間損益計算書

(単位：百万円)

	第33期中間期	第34期中間期	第33期
	平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
売上高	6,201	7,550	13,049
売上原価	1,711	2,114	3,640
売上総利益	4,490	5,435	9,409
販売費及び一般管理費	3,555	4,366	7,396
営業利益	934	1,069	2,013
営業外収益	22	19	47
営業外費用	13	13	52
経常利益	943	1,076	2,007
特別利益	—	1	—
特別損失	2	16	13
税引前中間(当期)純利益	940	1,061	1,993
法人税、住民税及び事業税	363	388	758
法人税等調整額	6	4	△ 2
中間(当期)純利益	570	668	1,237

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第33期中間期	第34期中間期	第33期
	平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	853	999	1,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 695	△ 1,023	△ 1,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	△ 103	2,588
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70	△ 127	3,011
現金及び現金同等物の期首残高	2,798	5,809	2,798
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,869	5,682	5,809

Point ポイント

当中間期の売上高は前年同期比21.8%増、中間純利益は17.3%増となり、6期連続の増収増益となり、過去最高の業績を達成することができました。

また、自己資本比率は83.3%となり、出店を加速しながら、継続して強い財務体質を維持しております。

会社情報

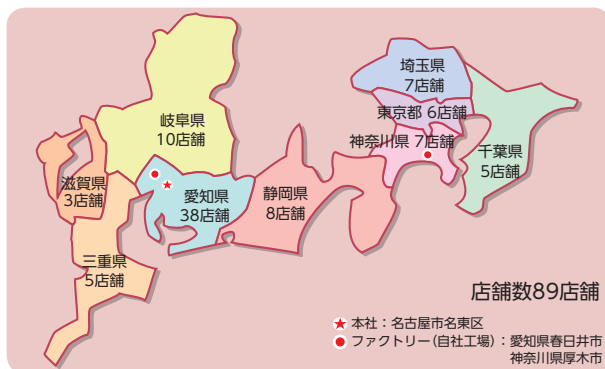
会社概要 (平成27年6月30日現在)

商号	株式会社ブロンコビリー 英訳名 (BRONCO BILLY Co.,LTD.)
本社所在地	名古屋市名東区平和が丘一丁目75番地
設立	昭和58年12月
資本金	21億99百万円
社員数	343人
パート・アルバイト	3,040人
事業内容	ステーキ、ハンバーグ、サラダバーなどを提供する郊外型レストランの展開

役員 (平成27年6月30日現在)

代表取締役会長	竹市 靖 公	取締役	宮 本 卓
代表取締役社長	竹市 克 弘	取締役 (社外)	平 野 曜 二
取締役	古 田 光 浩	常勤監査役	岩 田 忠 雄
取締役	竹市 啓 子	監査役 (社外)	遠 山 昌 夫
取締役	出口 有 二	監査役 (社外)	岩 村 豊 正
取締役	馬 場 崇 文		

店舗情報 (平成27年6月30日現在)



HPのご案内

当社の
・会社情報 ・IR情報 ・メニュー
などはこちらからどうぞ!!

ブロンコビリー

検索

<http://www.bronco.co.jp/>

株式情報

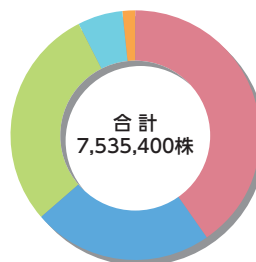
株式の状況 (平成27年6月30日現在)

発行可能株式総数	11,260,000株
発行済株式の総数	7,535,400株
株主数	7,729名
大株主の状況	

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社ストロングウィル	1,897,800	25.1
ブロンコビリー従業員持株会	263,400	3.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	248,800	3.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	217,200	2.8
株式会社トーカン	205,900	2.7
竹市 靖 公	178,200	2.3
竹市 克 弘	171,400	2.2
竹市 啓 子	168,300	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	141,000	1.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	140,000	1.8

(注) 持株比率は、自己株式 (296株) を控除し、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



個人・その他	3,044,793株 (40.41%)
金融機関	1,752,600株 (23.26%)
その他の法人	2,176,600株 (28.88%)
外国法人等	446,494株 (5.93%)
金融商品取引業者	114,617株 (1.52%)
自己名義株式	296株 (0.00%)